

カリキュラム区分		3カリ			シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
専門分野	M218	1年	後期	看護学	選択	高齢者看護学特論Ⅱ	30	2	
						Advanced Study on Gerontological NursingⅡ			
担当教員									
田中 昭子		未定＊							
関連するDPキーワード（看護学専攻）									
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。								
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。								
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）									
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。								
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。								
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。								
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。								
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。								
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。								
授業目的									
高齢者によくみられる疾患や症状について、アセスメントや評価方法、支援方法について学ぶ。 対象となる人々や現象を論理的に分析し、看護実践の質向上に貢献できる力を養う。									
到達目標（授業目標）									
・ 高齢者によくみられる疾患や症状について、アセスメントや評価方法を理解し、質の高い支援方法を考えることができる。 ・ 現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、支援方法を再検討できる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	ガイダンス								
2回	高齢者総合機能評価(CGA)								
3回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（1）								

4回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（2）
5回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（3）
6回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（4）
7回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（5）
8回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（6）
9回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（7）
10回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（8）
11回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（9）
12回	高齢者によくみられる疾患や症状（認知症、脳血管疾患、慢性心不全、摂食・嚥下障害など）について、アセスメントや評価方法を調べ、現在関わっている（または過去に関わった）事例について、再アセスメント・再評価し、質の高い支援方法を考える。 （プレゼンテーション・討議）（10）
13回	地域で生活する高齢者の健康課題と支援（1）担当教員：非常勤講師
14回	地域で生活する高齢者の健康課題と支援（2）担当教員：非常勤講師
15回	課題レポート発表、まとめ
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	
成績評価方法及び基準	
プレゼンテーション40%、課題レポート40%、討議への貢献度30%。トータル60点以上を合格とする。	
教科書	なし
参考図書等	適宜紹介する。

[illegible]